HeLa EB3-GFP Kirc 14 2024□9月27日

305718

概要

□明

HeLa EB3-GFP Kirc 14□、ヒトHeLa子宮頸がん細胞株を遺伝子改変した派生株であり、 GFPタグ付きEB3（エンドバインディングタンパク質 3）融合タンパク質を安定発現するように設計されており、「Kirc 14」と□、トランスフェクションされたプールから選別された特定のサブクローン（クローン 14）を指します。EB3□エンド結合タンパク質ファミリーの一員であり、伸長中の微小管のプラス端を追跡し、生細胞における微小管の動的な挙動を示すレポーターとして機能します。 GFP-EB3融合タンパク質□、重合中の微小管の先端で特徴的な彗星状の蛍光シグナルを発生させ、微小管の動態、細胞内輸送、および細胞骨格の組織化をリアルタイムで生細胞イメージングすることを可能にします。

HeLa EB3-GFP Kirc 14 □、細胞生物学の研究において、微小管のプラス端の動態の生細胞イメージング、有糸分裂紡錘体の形成およびキネトコアと微小管の相互作用の研究、細胞内輸送体の調査、ならびに微小管重合の動態に影響を与える化合物の評価に使用されます。 安定したサブクローンGFP-EB3の発現により、継代を超えて一貫した蛍光強度とパターンが得られるため、クローン14□定量イメージングアッセイや、微小管を標的とする薬剤のハイスループットスクリーニングに適しています。

ティッシュ	子宮頸部
病気	子宮頸部腺がん（HeLa由来）；GFP-EB3（微小管プラス端レポーター）を安定的に導入したもの

用途

生細胞における微小管の動態イメージング；有糸分裂紡錘体の研究；キネトコアと微小管の相互作用に関する研究；細胞内輸送；微小管を標的とする薬剤のスクリーニング

分類

生物	人間
成長特性	アドヘレント
GMOの有無	GMO-S1

GMOのステータスに関する詳細

GMO-S1: This HeLa EB3 GFP KIRC14 line contains a GFP-tagged EB3 construct for microtubule plus-end tracking in live-cell imaging. This classification applies only within Germany and may differ elsewhere.

バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	上皮様
細胞の種類	上皮細胞
倍増時間	約24時間

識別子

引用

HeLa EB3-GFP Kirc 14 2024年9月27日 (Cytion カタログ番号 305718)

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	Derived from HeLa (CVCL_0030); GFP-EB3 sub-clone not independently assigned

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

取り扱いと飼育

培地

DMEM、w：4.5g/Lグルコース、w：4mM L-グルタミン、w：3.7g/L NaHCO3、w：1.0mMピルビン酸ナトリウム（Cytion品番820300a）

培養雰囲気	37℃、5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

解離試薬	Accutase、10分、37°C

継代培養

付着細胞から古い培地を取り除き、 PBSで洗浄する。Accutaseを添加し、室温で8～10分間インキュベートした後、培地で再懸濁し、 300×gで3分間遠心分離し、選択培地を入れた新しいフラスコに移す。

分割比率	1～5
播種密度	1～3 × 10^4 細胞/cm^2
流体の更新	週2～3回

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 200 x g for 5 minutes, carefully discard the supernatant containing freezing medium.
Follow the procedure described under Post-Thaw Recovery

品質管理と凍結保存

凍結培地	凍結保存培地として、解凍後の生存率を十分に高めるため、完全増殖培地＋ 10%DMSOを使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された細胞株、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣　不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中また液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中に 、フェイスマスクまた安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これ 、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオン、製品の品質と生存率を保証します。
当社で、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、細胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／また製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳細について、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB